

12月1日

武蔵野市関前に看護小規模多機能型居宅介護事業が
オープンします。

その名は **ナースケアたんぽぽの家** です

整備と運営の説明

平成30年10月5日(水)

多摩たんぽぽ介護サービスセンター

電話：0422-34-1011

ご挨拶

今年3月、武蔵野市の高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画が示されました。この度、この計画に沿い、看護小規模多機能型居宅介護施設・「ナースケアたんぽぽの家」を関前2丁目で整備・運営をすることになりました。

看護小規模多機能型居宅介護って何？

全国で360カ所しかなく、まだ知られていない介護保険事業の一つです。

本日は、整備と運営の説明を、運営主体の紹介も併せてさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

多摩たんぽぽ介護サービスセンター 取締役、千葉信子

多摩たんぽぽ介護サービスセンター 創立者（千葉信子）の自己紹介

私の父は、終戦により病弱で帰国し、医師不在の中、私が1歳半の時に他界しました。その父を思うにつけ「僻地で看護を届ける仕事をしたい！」と考え、看護の道に入りました。

三鷹市にある、井之頭病院で30年余り働き、その後永年の夢だった独立型訪問看護ステーションを設立し、今年には会社創立20年目を迎えました。

この間の活動拠点は三鷹市大沢ですが、看護を始め、介護、居宅、デイサービス、有料老人ホーム等を運営して参りました。

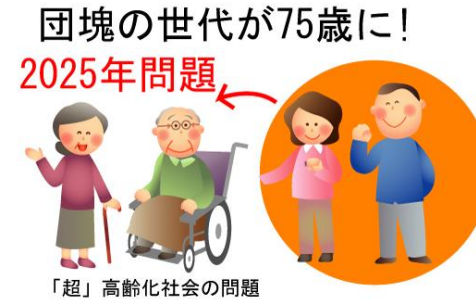
5年前から、社員に事業を分割する暖簾分けを始め、12月までに事業を引き継いだ社長は7人になり、それぞれ武蔵野三鷹の地で活躍しています。

そして、12月から始める「ナースケアたんぽぽの家」の新しい事業は、これまでの活動の集大成として挑戦させて頂くことになりました。

会社の本社も移転し、公私共に育てていただいた武蔵野で恩返しの際のチャンスをいただいたことに感謝の気持ちで1杯です。

2025年とその先の介護を見据えて

地域包括ケアの拠点となる看多機



2025年は団塊の世代が後期高齢者となる年、以降は2,000万人、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来します。2040年には、介護や医療、看取りのニーズがピークを迎えます。

今、「できることなら最期まで自宅で過ごし続けたい」願う方が増えています。

増え続ける高齢者をどう地域で支えるか、武蔵野市では、“まちぐるみの支え合い”その基盤に医療と介護の連携に重点的に取り組むと基本方針を示しています。

重点施策が、「中・重度になっても、住み慣れた地域で生活できるまちづくり」その仕組みの一つが看多機です。

看護小規模多機能居宅介護(看多機) とは①

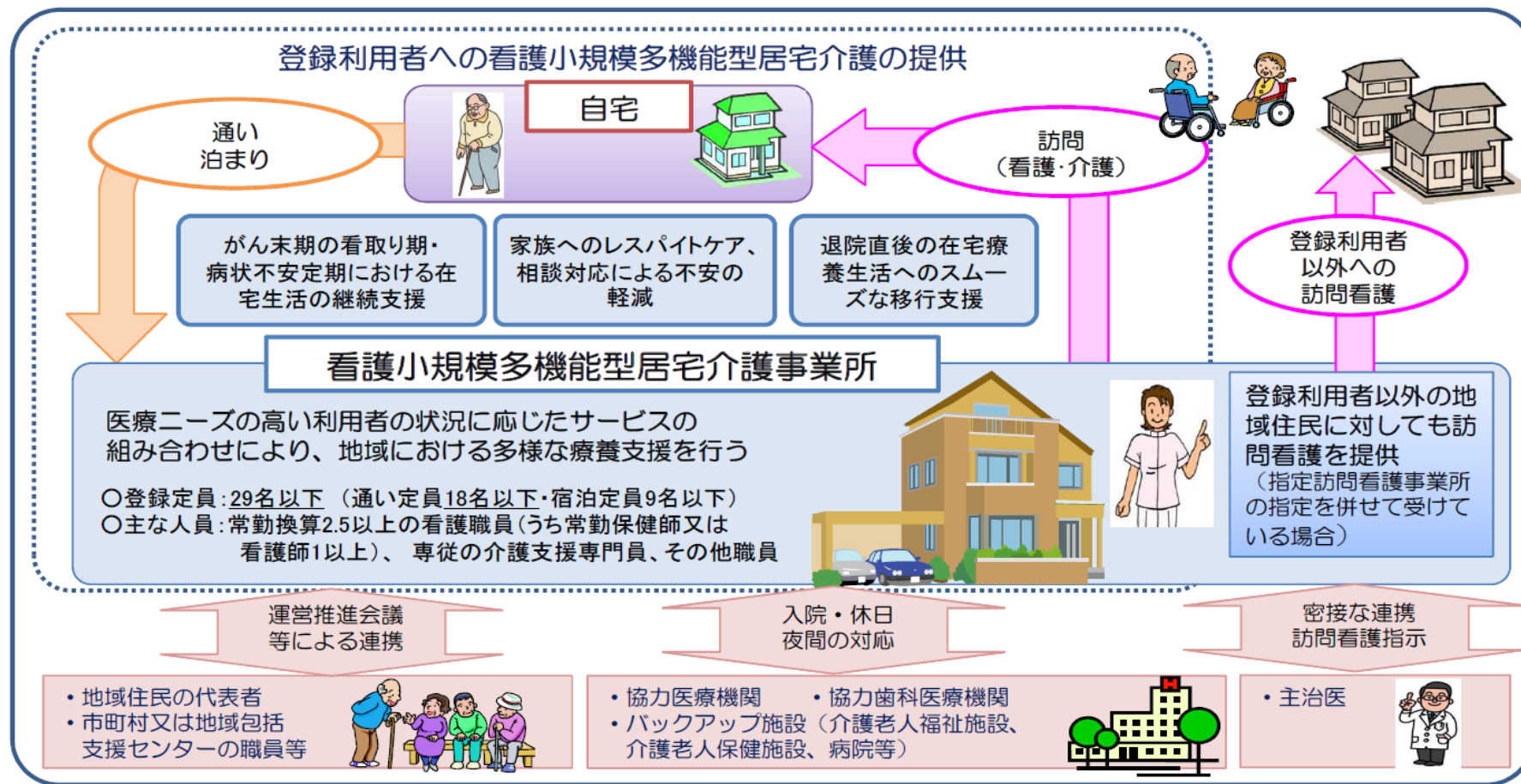
看多機が生まれた経緯と目的

厚生労働省は、医療ニーズが高い方が在宅で過ごすことができる施策として、平成24年に看護師が主体となって運営する「複合型サービス」という名称で始めましたが、制度変更や運用面で国民に理解されにくく、名称変更が必要となりました。

以前から小規模多機能居宅介護はありますが、医療的ケアができる看護師の関わりがその特徴と言えます。

平成27年に「看護小規模多機能型居宅介護」(略してかんたき)という名称で、全国に普及が始まり、現在360か所あります。この制度の目的は、高齢でも病気が重症化しても、医師と連携して看護が24時間、365日必要に応じ訪問し、最期のお見取りまで、在宅生活を継続できることをご支援する魅力ある仕組みです。

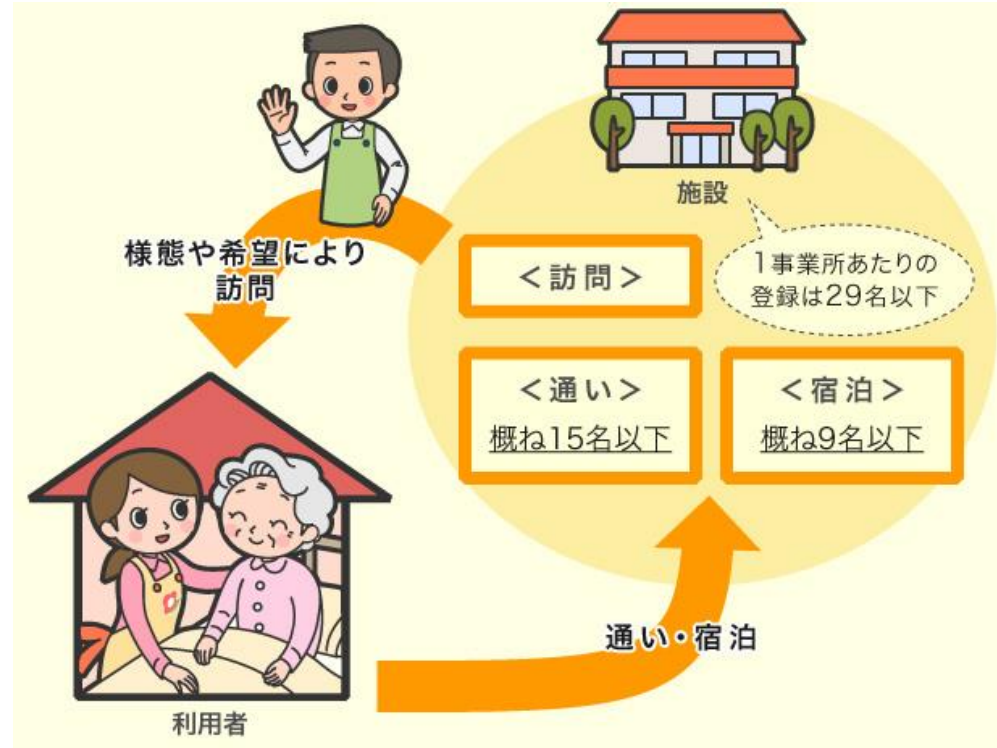
看護小規模多機能型居宅介護の概要



- 主治医と看護小規模多機能型居宅介護事業所の密接な連携のもと、医療行為も含めた多様なサービスを24時間365日利用することができる。
※ 医療ニーズへの対応が必要な利用者に対して、小規模多機能型居宅介護事業所では対応できなかったが、看護小規模多機能型居宅介護事業所では対応できる。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所の介護支援専門員が、「通い」、「泊まり」、「訪問(看護・介護)」のサービスを一元的に管理するため、利用者や家族の状態に即応できるサービスを組み合わせることができる。

看多機：こんなニーズのある方々の支援に

- 退院直後の在宅復帰支援
- ガン末期の在宅生活支援
- 医療ニーズの高い認知症支援
- 独居高齢者の糖尿病管理
- 老々介護のレスパイト
- 夫婦一緒の支援・レスパイト
- 通いで利用してきた馴染みの場所での看取り支援
- 胃ろうの管理・介護者支援



○退院直後の在宅生活へのスムーズな移行、○ガン末期等の看取り期、病状不安定期における在宅生活の継続、○家族に対するレスパイトケア、相談対応による負担軽減等々に貢献できます。

武蔵野市で初の看多機整備計画

武蔵野市は、「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の中間のまとめ(案)を策定、中・重度の要介護状態ながらも安心して暮らし続けられる新規施策として「看多機」の整備を推進すると位置づけました。

内容は、「今後さらに高まる医療ニーズに対応していくために在宅の中・重度の要介護者を支える方策として医療機能を併設した小規模多機能型居宅介護の整備を推進」というものです。

一人暮らしになっても、認知症になっても、中・重度の要介護状態になっても、医療機能を併設した施設があれば、医療と介護が連携してまちぐるみの支え合いがあれば住み慣れた地域で生活を継続できるという考え方です。

関前2丁目に整備する看多機＝ナースケアたんぽぽの家は、小さな規模ですが、地域の皆さんのニーズにお応えしたいと考えています。

看多機：ナースケアたんぽぽの家の概要①

施設整備計画の概要

- 施設概要及び整備予定地概要

名称 : ナースケアたんぽぽの家
所在地 : 武蔵野市関前 2 - 2 4 - 1 3
敷地面積 : 191.95m²(実測)
土地の権利関係 : 所有者(千葉信子) と賃貸借契約、
その土地に施設を建てます

看多機：ナースケアたんぽぽの家の概要②

●建物整備の概要

住所 武蔵野市関前 2 - 2 4 - 1 3

建物 木造在来軸組工法（耐火建築物）、地上3階建て
防火設備・・・スプリンクラー、自動火災報知設備
消防署へ通報する火災報知設備

建築面積 101.33㎡ (30.59坪)

1階床面積 100.82㎡ (30.43坪)

デイルーム、浴室、多目的スペース他

2階床面積 101.33㎡(30.59坪) ※うち、有料老人ホーム33.53㎡

宿泊室4室、多目的スペース ※ほかに有料老人ホーム2室

3階床面積 38.71㎡(11.68坪)

事務室兼訪問看護ステーション、休憩室、更衣室他

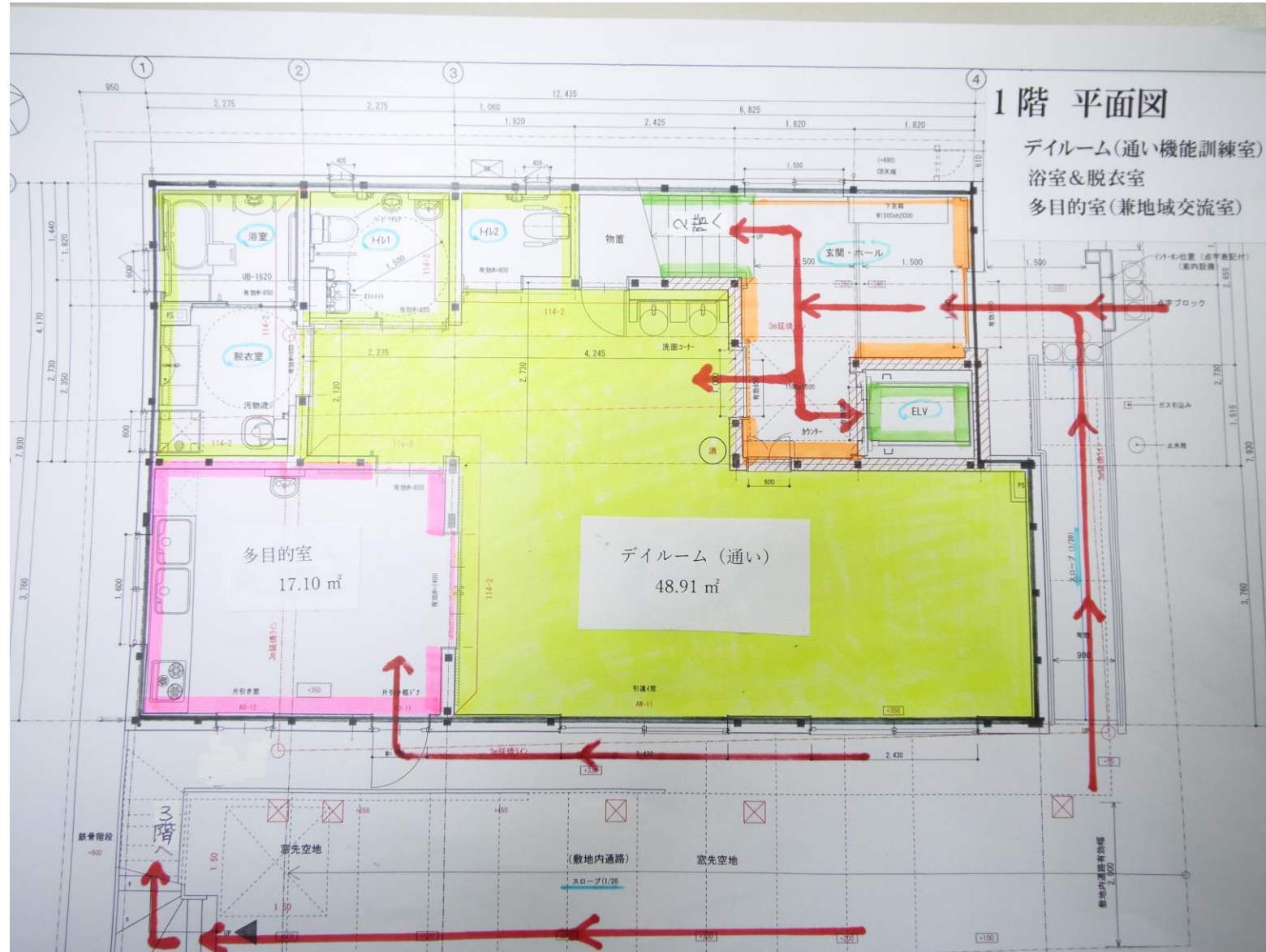
施設整備計画

完成予想図



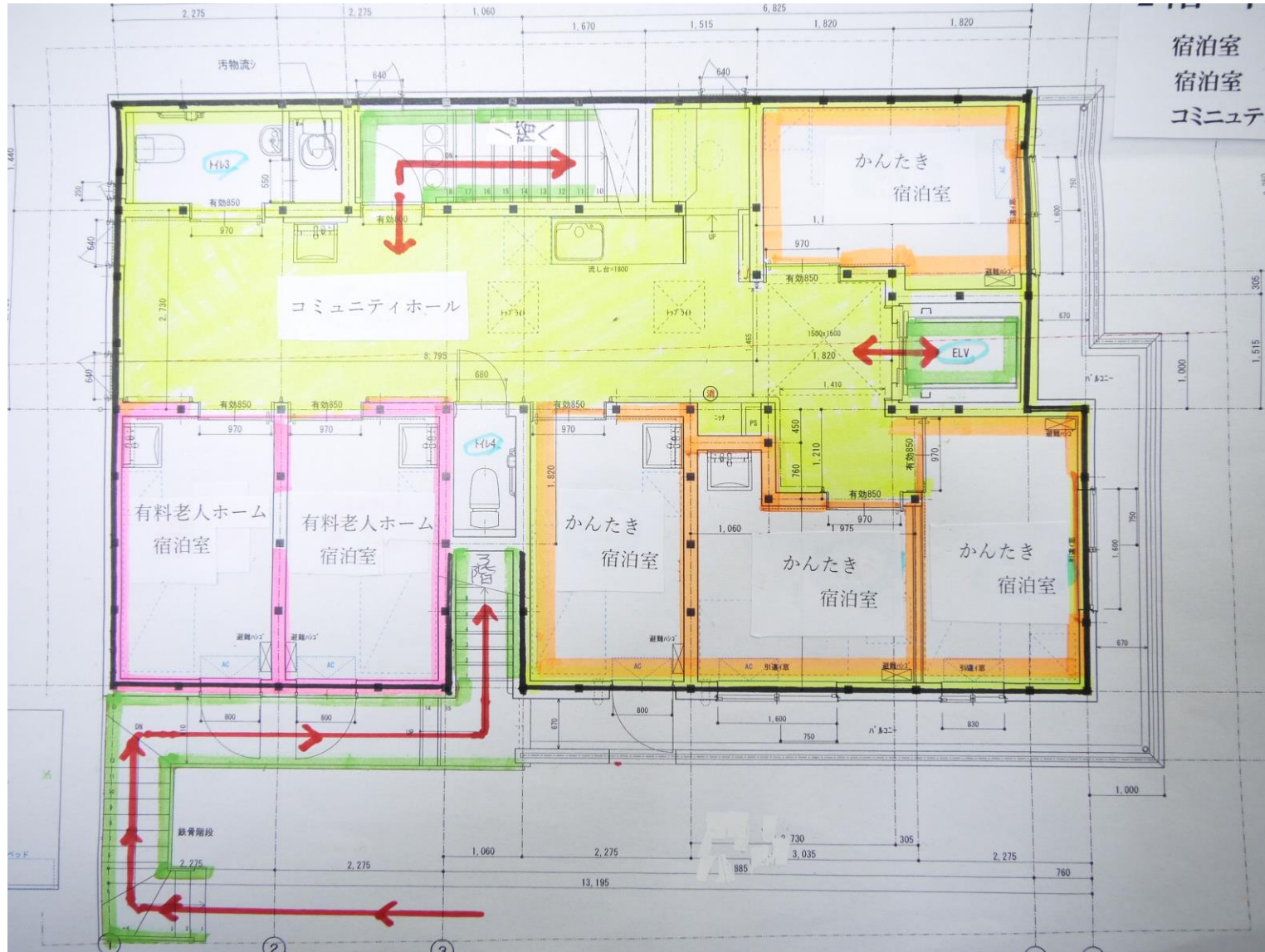
施設整備計画

建物1階平面図



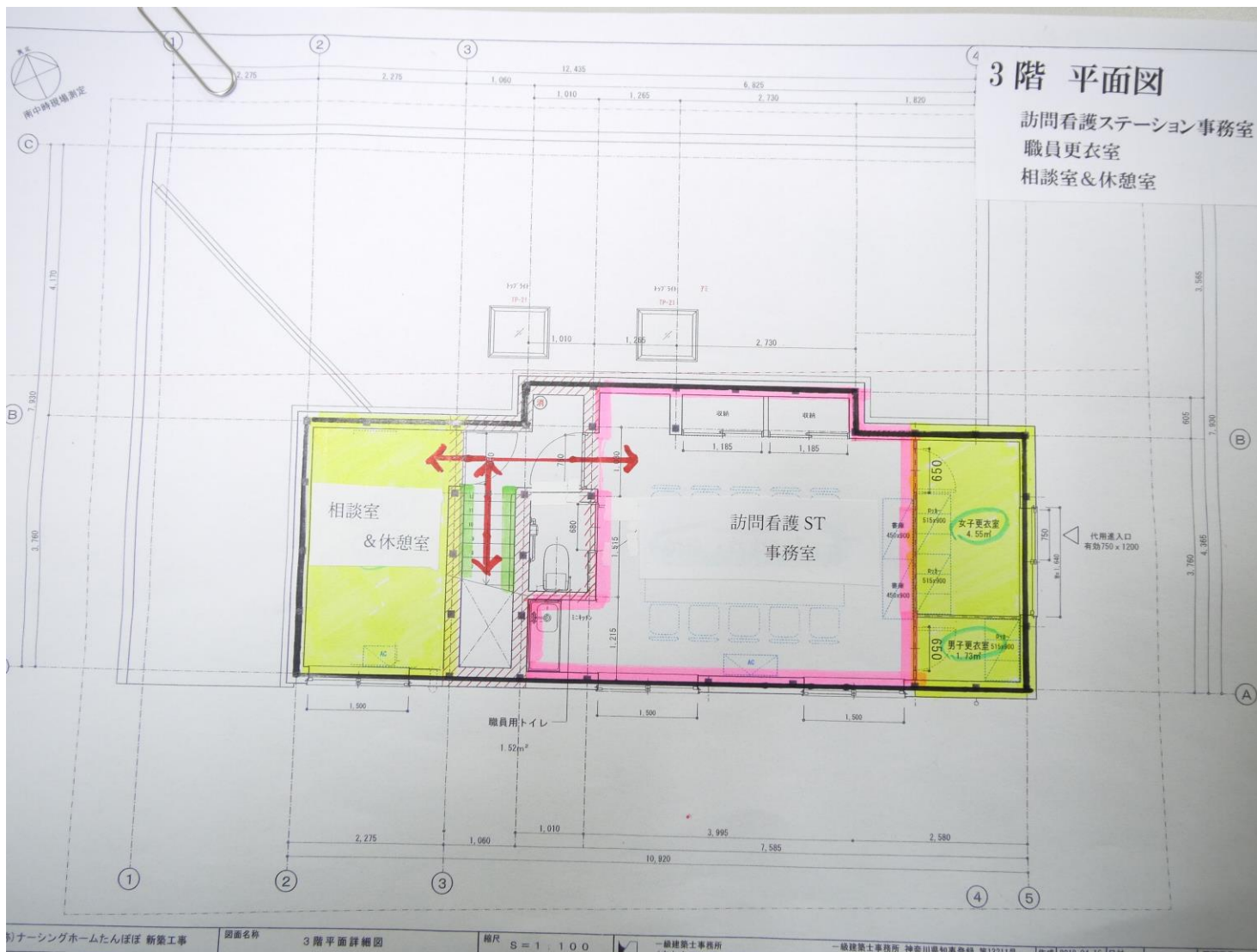
施設整備計画

建物2階平面図



施設整備計画

建物3階平面図



訪問看護事業と看多機の2枚看板で 広く地域の医療(介護)支援に貢献します

●訪問看護：多摩たんぽぽ訪問看護ステーション

施設内に訪問看護事業を置きます。武蔵野三鷹を中心に、病名に垣根を持たず、重症の方や難病、精神疾患を持つ方、ターミナル期の方のお看取りを含め、主治医の先生と連携し、在宅生活をご支援します。たんぽぽで一番最初に初めに事業です。

●看多機：ナースケアたんぽぽの家

上記のステーションとの2枚看板で、武蔵野市に住む24名の方を対象に安全と安心のサービスをご提供致します。看護スタッフ数は合わせて12名。

*看多機には看護の他に、介護スタッフを10名、ケアマネ1名配置の予定です。

まとめ・・・武蔵野市で、関前の地で

私たち多摩たんぽぽ介護サービスセンターは、地域の皆様に育てて頂きお陰様で、20年の歴史を重ねてきました。

訪問看護を中心に、訪問介護、デイサービス、有料老人ホーム、その方を支えつつマネジメントを担当する居宅介護支援は、会社理念とチーム力を大事にし、数々の経験と実績を積み上げて参りました。

この度、武蔵野市関前の地で整備、運営をさせていただく看多機：ナースケアたんぽぽの家は、今までの経歴と実績を生かすチャレンジの機会を頂いていると考えています。

看護師を中心に、社員一同、総力を挙げてこの新しい事業を成功させていく決意です。皆様方のご理解と、温かいご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。



この写真